

## Agilent 1600 CE と C4D システムとの接続

このアプリケーションノートでは、eDAQ C<sup>4</sup>D システムを Agilent 1600 CE 装置に接続する方法を説明します。

### はじめに

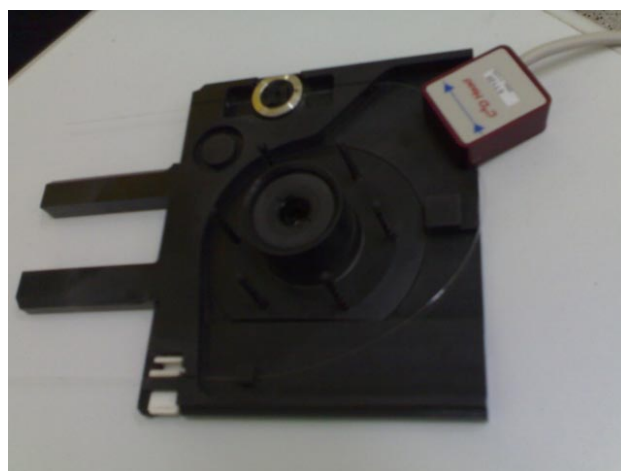
eDAQ C<sup>4</sup>D システムと Agilent 1600 CE 装置との接続は簡単です。まず、データを収録するのに eDAQ PowerChrom か Chart ソフトウェアを使用するのか、または Agilent ChemStation ソフトウェアを使うのかを決めます。



eDAQ C<sup>4</sup>D システムを Agilent 1600 CE に取り付けた装置全体の写真

### Agilent のカートリッジに C<sup>4</sup>D ヘッドステージを取り付ける

C<sup>4</sup>D ヘッドステージを Agilent CE のカートリッジの中に取り付けるのは簡単です。C<sup>4</sup>D ヘッドステージの側面のチャンネルにキャピラリーを通して固定するだけで OK です。



Agilent のカートリッジに C<sup>4</sup>D ヘッドステージを取り付けた写真。円形で銀色の UV 検出器のセルも映っています。

### Agilent 検出器と e-corder や PowerChrom ハードユニットとの接続

Agilent 検出器のうち、アナログ出力が付いた機種があります。これらの機種は、e-corder や PowerChrom ハードユニットに接続して C<sup>4</sup>D と Agilent 検出器からの両信号を eDAQ PowerChrom や Chart ソフトウェアで記録できます。



### トリガーケーブル

Agilent CE と e-corder や PowerChrom ハードユニットとを接続する為のトリガーケーブルです。

### Agilent ChemStation ソフトウェアで C<sup>4</sup>D のシグナルを記録する

ER125 C<sup>4</sup>D 検出器からのシグナルを Agilent ChemStation ソフトウェアで記録することができます。Agilent 35900E データ取得インターフェースには Agilent 社の装置以外にも、eDAQ C<sup>4</sup>D を含め一般の検出器が接続できます。



Agilent 35900E データ取得インターフェース